

# J AIPA

---

## Express

**Vol.44**  
February 2017

### CONTENTS

ご挨拶

コラム

・ Internet Governance Forumとネットワークの中立性について

レポート

・ 第46回ISP &クラウド事業者の集い in 富山開催報告書

事務局通信

会員紹介

行事一覧

役員一覧

会員一覧

全国プロバイダー一覧

**People,people**

新年おめでとうございます。

昨年は、熊本地震、リオデジャネイロオリンピック、SMAPの解散などいろいろな出来事が有りました。

今年もまたいろいろな出来事がありそうです。

インターネット業界に於いてはWindows95が発売されて20年経つことから、ここ数年は20周年記念が多くなりそうです。

JAIPA会員企業では、昨年、NTTコミュニケーションズ様のインターネットサービスOCNサービス開始20年、さくらインターネット株式会社様創立20周年などがありました。

今年は、私ごとですが弊社が創立20周年となります。

20年前に私が起業した動機の一つに地方の衰退を防ぐ方法としてインターネットショッピングが有りました。

インターネットは距離と時間を無くすもの……

地方に居ても都市部と同じ情報が取れ、発信もできる。

当時の地元の状況は、国道4号線のバイパスが出来、それと連動するように大型ショッピングセンターが出店しました。

みるみる町中の商店街から人通りが無くなり、シャッター通りとなって行きました。

そこで、目の前に人が居なくてもインターネット上に仮想店舗を構え物販すれば売り上げ増が見込める。

楽天株式会社様も20年前の創業です。

しかし、皆様もご存じの通り上手く行きませんでした。

地方に居ても都市部と同じように……

これは、都市部に居ても地方の産物が購入でき、情報も取得できる事でした。

地方と都市部では通信インフラに圧倒的な格差があり、地方からの人口と情報の流出は止まりません。

インターネットが多くの人に使われ始めて20年。

私の住んでいる町の商店街には八百屋さんも魚屋さんありません。

地方はどうなっていくのでしょうか。

インターネットはこの流れを変えることができるのでしょうか。

地域の活性は人の移動を伴うと大きな成果を生みやすくなると思います。

人の移動を促す一つの方法が、位置情報とARやVRとの組み合わせのサービスです。

その地域でしか味わえないサービス提供が大きな魅力となります。

東北に於いては、東日本大震災の津波被害地域に来た人に、その場所の被災直後をゴーグル型機器で体験できる試みや、ポケモンGOで被災地域にレアキャラを出現させ誘客を図る事が行われました。

個人的には、観光地にある「顔出しパネル」のインターネットを使ったサービスが有れば面白いと思っています。

今後も多種多様なサービスが出てくることを期待しています。

今、国は地方創生を主たる政策の一つとして力を入れています。

私の住む地域においても訪日外国人観光客の受け入れ態勢づくりや高齢化に伴う医療費増、人口減少対策にICTの利活用が必要との認識が高く、関連する事業に予算が付くようになってきました。

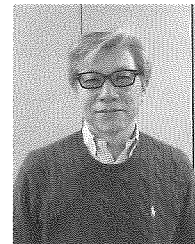
公衆無線アクセスポイントの設置や多言語対応観光及び飲食WEBサイト、ただ、問題としてそれらを有効に使える地元の人々の育成が必要となっています。

一つの可能性が出るといくつかの問題が出ます、それをどうやって解消して行くかが地域の活性化の課題です。

2月に地元の活性化の課題解決のために、まちづくり会社「しばたの未来株式会社」を設立されることになり、その立ち上げと運営に大きくかかわる事になりました。

この取り組みに対し、JAIPA会員の皆様のご支援をいただければ幸いです。

2017年が皆様にとって素晴らしい年になることを願っています。



一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会  
常任理事 地域ISP部会会長 晋山 孝善  
(ジェットインターネット株式会社)

## Internet Governance Forumとネットワークの中立性について

この表題は、昨年UNのIGF(Internet Governance Forum)「Annual report of the UN IGF Dynamic Coalition on Net Neutrality」として出版された同名の著書のタイトルを引用させてもらった。副題として「Zero-rating, Specialised Service, Ad Blocking and Traffic Management」がつけられている。日本人にはあまりなじみのないAD Blockingやそれらに伴うトラフィックマネジメントなどにも触れられている。Luca Belli氏のチームがネットワークの中立性に関する様々な分野の報告を一つにまとめて世に出したものである。Luca Belli氏本人やRoslyn Layton教授も、2016年12月にメキシコ、グアダハラハラで開催された国連主催のIGFに参加されていた。この際、Roslyn Layton教授とは立ち話程度だが、直接お話する機会を得ることができ彼女が日本の状況について非常に興味を持たれていること知って少し驚いた。



11回目となるIGFは、オンサイトの参加者2000名以上、80カ国以上からの参加があった。毎回思うのは一人では関連しそうなセッションに全て参加することが出来ず悔しい思いをすることである。ここ数年は、各セッションのスピーカーも充実してきたのか（あるいは私がそれまであまり知らなかっただけなのかもしれないが）よく名前を見聞きする人が増えているように感じられる。

例えば、違法有害情報対策において、この分野では有名な英国のIWF(Internet Watch Foundation)という組織がある。そのIWFのSusie Hargreaves氏には、2014年、ケンブリッジの事務所に訪問しいろいろお話を伺い、英国における児童ポルノサイトのブロッキングや組織の運営方法その他について教えて頂いた。彼女らも毎回国連のIGFには参加されており、日本の活動についても興味を持っているようなので、会うたびに情報交換をさせて頂いている。

また、2016年4月に国連の「表現の自由に関する調査団」の代表として来日したDavid Kaye氏とも偶然再会することが出来た。彼らはJAIPAの事務所へも来たことがあり、日本における「通信の制限」の状況などについてインタビューされた。彼の日本の調査に関するレポートについては、新聞、テレビなどでも取り上げられ報道されたのでご存じの方もいらっしゃると思う。特にインターネットに関する部分については、The Japan Timesが興味持ったらしくJAIPAにまで取材があり、何故日本のインターネットが制限を受けにくいのか、といったことについて取材がされ、その内容は2016年5月の紙面で紹介されている。今回はラテンアメリカ諸国の表現の自由と通信規制に関するセッションの議長役でIGFに参加されており、再度ご挨拶をする機会に恵まれた。(ラテンアメリカ諸国で日本のように「表現の自由」などが法律で保証されている国は殆どない。)



今回のIGFでは、ネットワークの中立性と「Fragmentation」という言葉がよく聞かれた。「中立性」という言葉は、2000年を過ぎた頃から世界各地で問題となったために耳慣れた言葉ではあるが、私自身は「Fragmentation」という言葉をこの分野においては、あまり聞いていない。内容的にどういうものを指しているのか、その言葉の示す全貌を私自身把握できていないため、ここでもあえて英語表記のまま書かせて頂いているが、直訳の「断片化」という単語が合致しているようにも思えない。(どなたかご存じの方、ご教示下さい。)

IGFの各会議で話されていた内容から察するに、例えば表現の自由と大きく関わることでは、「とにかく権力者は何らかの理由をつけてネットワークを制限したがるものであり、それがネットワークのFragmentationにつながる」ということであったりする。

日本では児童ポルノサイトブロッキングが唯一だとは思われるが、この分野の一つでもあろう。今後は優先制御やその他のサービスなどで「Fragmentation」が課題になる可能性もあるため注意していきたい。

その「ネットワークの中立性」については、2006-2007年に総務省で懇談会が開催され報告書も公表されている。その頃、日本で話題になっていたのは例の「P2P」問題である。この懇談会が開催されたのもP2Pを始め、ストリーミングなどによりトラフィック増加が顕著になってきたことが一つの要因だとも考えられる。当時、わずかに数パーセントのユーザーが7～8割のトラフィックを生み出しているとも言われていた。ネットワークの中を流れる特定アプリケーションのトラフィックを制御するためには、パケットのヘッダー情報だけでは制御できないのでパケットの中身を見なければならぬ。よって通信の秘密を侵害してしまう。また、運用の仕方次第では正当業務行為の範囲を逸脱してしまうのである。先の懇談会の下にワーキンググループ「P2Pネットワークの在り方に関する作業部会」が設置され、P2Pの現状把握や単なる「悪」とされていたP2Pの有効活用について検討された。さらに、ネットワークへ負荷のかかっているP2P対策が違法な形で運用されないように、実際の運用形態や規約等について参考となるように、「帯域制御の運用基準に関するガイドライン」を電気通信4団体で協議会を開催し策定した。たまたま私が座長をさせていただいたこともあり、まだまだ記憶に新しい。

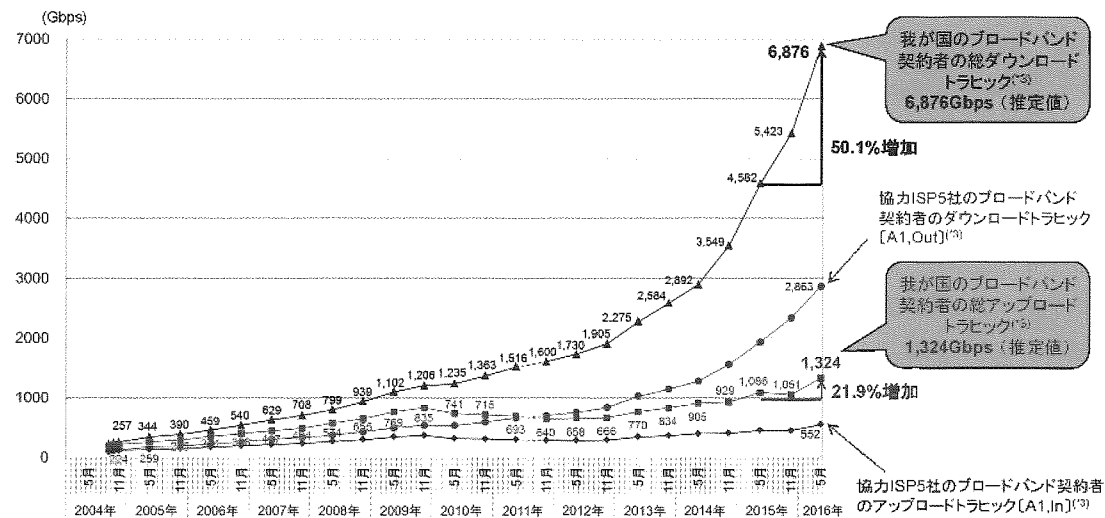
当時、急増するトラフィックに対応し、ベンダーやメーカが帯域制御装置を売ろうと営業がよく動いていた。しかし、事業者によってはこの装置の導入が「通信の秘密の侵害」であると認識していないものもいた。また導入することによる混乱も予想されたことから慎重な対応が求められていたのである。

このガイドラインの初版作成時には、まだ携帯電話網を利用したデータ通信が普及の初期段階であったこともあり、携帯電話網については触れられていなかった。しかし、その後急速に携帯電話網によるデータ通信が盛んになってきたため、3年後に更に検討会を開催し、改版を行ったという経緯がある。(私自身としては、それ以降改訂作業をしていないこと。携帯電話網によるデータ通信がMVNOなど出現により急激に増えたこと。LINEモバイルなどによる新サービスが開始されたこと。また、インバウンド対策を初めとして公衆無線LAN等も急速に普及したことを踏まえ、少なくとも改訂を行うかどうかを検討する必要性を感じている。)

一方、2015年7月のOSアップデート等が引き金になり、ISPとしては大変問題になっているのがトラフィックの急増問題である。データでも顕著になっており、総務省が公表している2016年5月時点での総トラフィックが6,876Gbpsであるのに対し、2006年は540Gbpsしかなかった。10年で10倍を大きく上回るトラフィックが流れている。また、2015年5月の統計と2016年の統計を比較すると、約1.5倍にトラフィックが急増しており、単にOSのアップデートだけの問題でない。

## 2. 我が国のブロードバンド契約者の総トラヒック

- 我が国のブロードバンドサービス契約者<sup>(1)</sup>の総ダウンロードトラヒックは推定で約6.9T(テラ<sup>(2)</sup>)bps (前年同月比50.1%増)
- また、総アップロードトラヒックは推定で約1.3Tbps(前年同月比21.9%増)

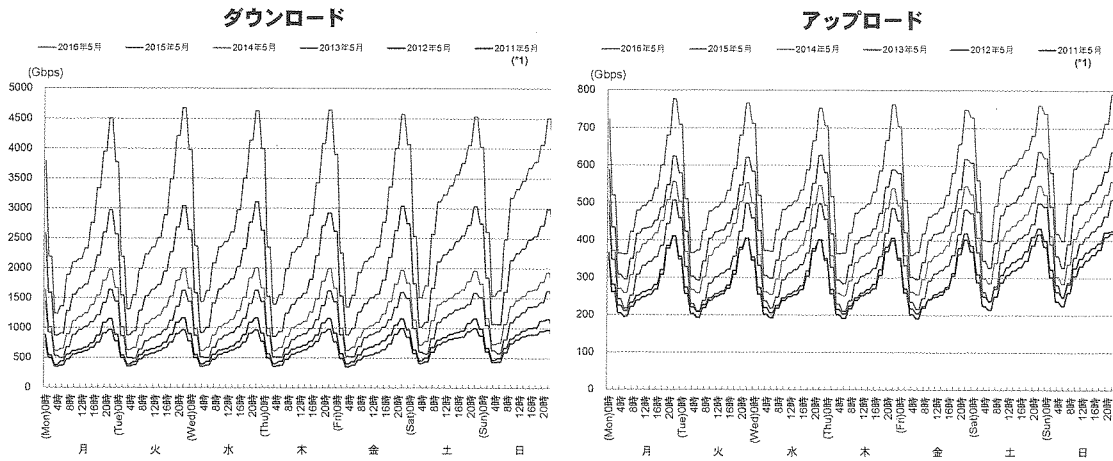


(1) FTTH, DSL, CATV, FWA  
 (2) 1T=1000G  
 (3) 2011年5月以前は、一部の協力ISPとブロードバンドサービス契約者との間のトラヒックに携帯電話網との間の移動通信トラヒックの一部が含まれていたが、当該トラヒックを区別することが可能となったため、2011年11月より当該トラヒックを除く形でトラヒックの集計・試算を行うこととした。

## 4. 時間帯別トラフィックの変化（協力ISP）

- ブロードバンドサービス契約者のトラフィック【A1】のピークの時間帯は21時から23時にある。
- 土曜日、日曜日は日中時間帯の利用も多い。

ブロードバンドサービス契約者の時間帯別トラフィックの変化（過去6年の比較）



(\*) 2011年5月以前は、携帯電話網との間の移動通信トラフィックの一部が含まれる。

ストリーミング系のコンテンツも毎年順調に増加している。一方で、時間毎のトラフィックパターンを見ると、人の活動時間に依ってトラフィックが増減していることが分かる。つまり、現状ではまだまだ人間の作り出しているトラフィックだということと言える。

巷間、よく耳にするIoT。一部ではIoE (Internet of Everything) などと言う言葉も聞こえ始めており、ISPにとってはある意味とんでもない話である。IoTは通信するパケット量そのものは少ないが、出回る数が携帯電話の出荷数どころではないはずである。これらの通信量（あるいは個数）が増加し始めると、時間毎のトラフィックパターンが人間の生活パターンとは変わってくるはずである。この変化を見ているとIoTの普及が見えてくるのではないかと予想できる。また、現状でも非PC系インターネット機器のウイルス感染や攻撃が報告されており、これらのセキュリティも今後大きな問題となってくるであろう。これらの機器のセキュリティ対策や運用トラフィックを運ぶ費用を誰が負担するのか。トラフィックは増大するが、回線コストが下げ止まった今、現状の定額制インターネット接続が、少なくとも今の料金で維持することが非常に厳しいことは容易に想像できるであろう。

このトラフィックの費用負担について深く考えさせられることがあった。それは、昨年、パリで最新の衛星インターネットのデモを見る機会を得たので見学させてもらった時のことである。7、8年前、衛星インターネットを利活用しようと

いう活動で、その頃の衛星インターネットのデモを何度か見たり触ったりしたが、非常にスピードが遅く、さすがにダイヤルアップの時代ほど遅くはないものの、非常時や山の上など、簡単には回線を引くことができない様なエリア以外では、その利用は難しいのではないかと思われた。しかし、現在ヨーロッパやアフリカで利用されている衛星は全く違うものだと言っていい印象であった。Webサイト上のリンクをクリックした際、一瞬DNSを探しているかの様な感じだが、落ち始めると後は早く、ADSLと遜色のないスピードで利用できる。YouTubeに上がっている4K品質10分程度の映像でも1～2分ほどでファイルがダウンロードされる。驚くのはその費用である。現在、この衛星のヨーロッパでの費用は、アンテナ等の初期費用が€300ほど。月々の利用料が標準的なプランで、下り22M、上り6Mで€30ほど。ADSLよりは高いものの光よりはかなり安く利用できる。しかし、一番の差はその月間のデータ転送量に制限があることで、上記のプランでは25GB/月となっていた。（これ以外にもスピードの違いやSOHO向けのサービスなど様々なプランが設定されており、料金にも違いがある。）日本の携帯電話網を利用したポケットルータと同じように上限を設定しているわけである。ただし、夜間12時以降、翌朝6時までにはデータ転送量がカウントされないプランや制限なしのプランなどもある。この設定プランを見て、日本のISPの利用料金も従量制の時代が来るのではないかと感じた。普段利用している大容量で高

速のインターネットではあまり想像出来ないが、僻地の利用（極端なエリア、孤島や山頂などでの利用）を考えると料金設定はわかりやすい。次項のインターネットエクスチェンジポイントについても同じであるが、近距離だけの通信だと実感が湧かないが、大陸間の通信を考えると数字に大きな差が出るため理解しやすい。（20年ほど前、南米にはIXが無く、ブラジルとアルゼンチンのデータ交換も、北米を通して行っていたため膨大な費用がかかっていた。）

そのIXについて、今回のIGFでは1セッションで、IXP（Internet Exchange Point）についても話し合いがされていた。IXPについては、2015年9月ジュネーブで開催されたITUのオープンコンサルテーションにJAIPAとして意見を提出し会議にも参加させてもらった。その会議での途上国の主張は、IXPは先進国の費用で設置し、回線に関しても出来るだけ、途上国の負担を出来るだけ少なくしろというようなものが多かった。「まあ、なんと。」というのが最初の感想であったが、よくよく考えてみるとその主張には一理あるように思えてきた。彼ら曰く、「自国の税金を使って国がインターネットのインフラを作っても、その上金をさらっていくのは先進国の企業だ。であれば、その費用負担は先進国がするべきである」と。これは日本においてもT1クラスのISPと地方の2次ISP。あるいはコンテンツプロバイダーと回線プロバイダーの構図と相似形で、ネットワークの費用負担に関する議論においては大きく差が無いように思えてしまう。ネットワークの中立性に関わる議論の一分野でもある。この議論は、ITU憲章改定時のWCITでも大いに議論を呼んだ分野でもある。

最後にゼロレーティングに関する課題である。2015年春にインドで、Facebookによるゼロレーティングサービスが始まった。日本でも2016年秋にLINEモバイルが同様のサービスを開始している。ゼロレーティングとは、特定のアプリケーションや特定のWebなどへの接続は、パケット代が課金されない仕組みをいう。以前は「カウントフリー」など別の名称もあったが、現在は、ゼロレーティング（Zero-Rating）というのが一般である。よく似たサービスには、Paid Prioritizationなどもあり、ネットワークの中立性に関する一分野ではあるが、今後はこれらを細かく検証していく必要があるだろう。

今回のIGFで、この議論になると必ず引用されていた国がインドである。2015年2月にリライアンスコミュニケーションズと提携したFacebookがゼロレーティング電話の「Free Basic Plan」のサービスを開始した。Facebookのサイトを見ている範囲では課金されないというものだ。この年の10月、インドのISP協会の方に会う機会があり、この件について伺った。彼曰く、Facebookの利用料金は無料になってい

かもしれないが、その他のサイトを見る際には、今までの10倍のパケット料金がかかるようになった、と頭を抱えておられた。翌年2016年2月にインドの電気通信規制庁（Telecom Regulatory Authority : TRAI）が規則を改定し、このFree Basic Planは排除された。これについては、Centre for Communication Governance at National Law University, DelhiのChinmayi Arun教授がIGFに参加されていたので、直接お話しすることが出来た。彼女の話ではインドの憲法上の問題があると言うことで、ルール改定を行ったということであった。2017年1月には、TRAIがネットワークの中立性に関するコンサルティングペーパーを公開している。

このほかノルウェーは、BEREC（The Body of European Regulators for Electronic Communications）のガイドライン従ったルールを導入してゼロレーティングを排除したようである。EU全体としては、その他の課題もあってEU圏を全てカバーするルール等は出来ていないが、各国では違法となる規則や法律が制定されており排除の方向に動いているように見える。

逆に違法化されずにこのゼロレーティング電話を利用出来るのが、今回IGFが開催されたメキシコである。導入の許可までには時間がかかったようであるが、最終的には許容され利用できる環境にある。実際、メキシコでスマートフォンを用いてFacebookを見ている際、他社サイトをタップすると、「これから先は利用料金がかかるがいいか」といった旨のメッセージが表示される。パケット料金を気にしながら利用している人がここから先を見に行く割合はどれくらいあるのだろうか。

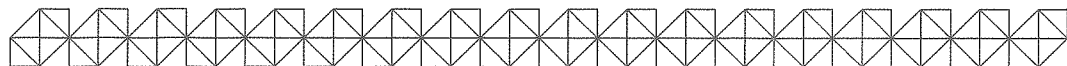
他には中央アフリカの諸国や東南アジア諸国である。確認は出来ていないが、Facebookの「Free Basic Plan」が利用できる国においては、インターネットとはFacebookのことだと思われているという話もあり、また、インドネシアやナイジェリアのアンケート調査ではFacebookはインターネットよりも「大きなもの」だと思っている人の方が多いという結果まで出ている。

10年前に総務省で懇談会まで開催されて議論された「中立性」に関する議論は、その後我が国においては大きな議論となっていなかったが、昨年あたりから俄に中立性に関する課題が浮かび上がり始めてきた。

国際的にはゼロレーティングに関する議論、また増大するトラフィックへの対応など議論が活発化している。いずれ日本でも大きく話題になっていくとは思われるがここでその一端を紹介できていれば幸いである。

（一社）日本インターネットプロバイダー協会

副会長兼専務理事 立石聡明



## 第46回ISP & クラウド事業者の集いin富山 開催報告書

日にち：2016年11月17日（木）～18日（金）

場 所：いきいきKAN 多目的ホール

〒930-0002 富山市新富町一丁目2番3号

TEL. 076-444-7120

一般財団法人 とやま観光物産センター

プログラム委員：

石田 株式会社イブリオ

伊集 NTTスマートコネクト株式会社

木下 トナミ運輸株式会社

佐々木 NTTスマートコネクト株式会社

宮内 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社

安力川 BBIX株式会社

後 援：富山市

参加者：121名

プログラム：

### ■11月17日（木）

13:00～ 受付開始

13:30～13:35 開会挨拶 地域ISP部会 部会長 晋山孝善

13:35～14:30 「地方創生への挑戦」

富山県知事政策局長 兼 危機管理監 新田一郎氏

14:35～14:50 新規入会会社のご挨拶（各5×3）

トナミ運輸株式会社（CORALNET）

株式会社ネクストジェン

株式会社シーエスファーム

14:50～15:30 「ネットワーク事業者で対策できる標的型

攻撃への対応—JAIPAとJPCERT/CCと

の取り組みも交えて—」

一般社団法人 JPCERT コーディネーションセンター

（JPCERT/CC）

早期警戒グループ 情報分析ライン

情報セキュリティアナリスト 青木 翔氏

15:30～15:50 通信・放送事業者間の問題解決をサポー

トします

～事例等も交えた電気通信紛争処理委員会の紹介～

電気通信紛争処理委員会事務局 調査専門官 中野 誠氏

15:50～16:00 <休憩>

16:00～18:40 クラウド部会セッション

・「JANOG39のご紹介—プログラム初公開！—」

村田篤紀（DMM. comラボ/JANOG39ホスト）

熊本豊（ミテネインターネット/JANOG39実行委員）

・スマートコネクトとは何か（JAIPA初！）

～人・企業・地域のコラボレーションを支えるクラウドの提供～

NTTスマートコネクト株式会社

代表取締役社長 白波瀬章氏

・AI/ディープラーニング時代に求められる新プラット

フォーム

「Data Centric Cloud」とは

株式会社IDCフロンティア

代表取締役社長 石田誠司氏

・パネルディスカッション

国産クラウド事業者のトップが語る

「クラウドビジネスの次のビジョンと地域の可能性」

モデレータ：さくらインターネット株式会社

代表取締役社長 田中邦裕氏

パネラー：GMOクラウド株式会社

代表取締役社長青山満氏

株式会社IDCフロンティア

代表取締役社長 石田誠司氏

NTTスマートコネクト株式会社

代表取締役社長 白波瀬章氏

19:00～ 懇親会 オリーブオイルキッチン

### ■11月18日（金）

9:00～ 受付開始

9:30～10:10 JAIPA部会活動のご紹介

女性部会部会長 大川裕子氏

（NTTコミュニケーションズ株式会社）

モバイル部会長 北村和広氏

（NTTコミュニケーションズ株式会社）

10:10～10:55 AI/IoTビジネスの現状と展望

株式会社インテック 執行役員

先端技術研究所長 荒野高志氏

10:55~11:25 ISPぶらら、急増するトラフィックとセキュリティ対策

株式会社NTTぶらら

技術本部ネットワーク管理部 秋元友伸氏

11:25~11:55 急増するインターネットトラフィックに対するOCNの取組み

NTTコミュニケーションズ株式会社

ネットワークサービス部 担当部長 北村和広氏

11:55~13:00 昼食休憩

13:00~13:25 NGNの利活用促進に向けた議論状況について

ソフトバンク株式会社 安力川幸司氏

13:25~14:00 世界におけるネットワーク中立性の議論状況

JAIPA副会長・ネットワークの中立性WG

主査 立石聡明氏

14:05~15:25 「増え続けるトラフィックにISPはどう対応するか～ネット中立性の議論も交えて～」

モデレータ：株式会社イプリオ 石田卓也氏

パネラー：JAIPA副会長・ネットワークの中立性WG

主査 立石聡明氏

株式会社インテック 執行役員

先端技術研究所長 荒野高志氏

NTTコミュニケーションズ株式会社

ネットワークサービス部

担当部長 北村和広氏

株式会社NTTぶらら

技術本部ネットワーク管理部 荒木孝広氏

ソフトバンク株式会社 安力川幸司氏

株式会社大塚商会 木室友裕氏

15:25~15:35 休憩

15:35~17:05 「電気通信事業法改正による事業者の対応状況とそれぞれの事例解説」

JAIPA インターネットユーザー部会 運営メンバー

17:10~18:30 インターネット上の違法有害情報対策  
違法有害情報・プロ責法に対応する

事業者のパネルディスカッション、部会報告+行政法律部会の活動報告

モデレータ：ニフティ株式会社

木村 孝 (JAIPA会長補佐)

パネラー：NTTコムエンジニアリング株式会社

サービスネットワーク部 近藤和弘氏

ソフトバンク株式会社 お客様相談室

ネットセキュリティ対策課 村主 亘氏

アルテリア・ネットワークス株式会社

コンタクトオペレーション部

テクニカルサポート課 岡崎英喜氏

さくらインターネット株式会社

セールスマーケティング本部

カスタマーリレーション部abuse対策チーム

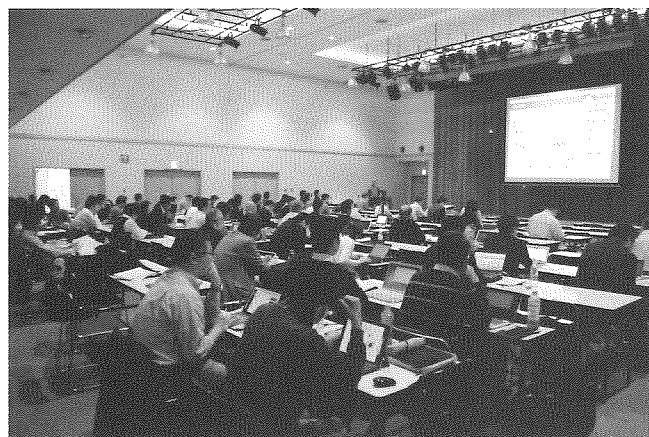
プロデューサー 山下健一氏

19:00～ 懇親会 だるま亭

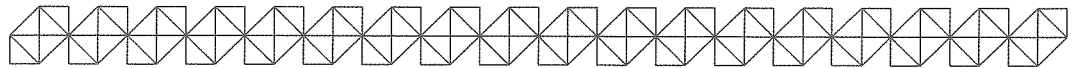
概要：

2015年3月に金沢まで新幹線が開通したので、前回の金沢の集いには間に合いませんでしたが、今回はこの北陸新幹線を目玉に、富山にて集いを開催する事になりました。とはいえ、飛行機で来た方も多かったようです。下見に行った際も良い時間帯の列車は満席、自由席設定がなかったので当日は心配していましたが、皆さん、何事も無くいらしていただいて良かったです。近いので懇親会終了後にお帰りになった方も多くいらっしゃいました。

さて、1日目ですが当日の朝の移動でも無理なくいらっしゃれるように13:30開始としました。基調講演は、「地方創生への挑戦」富山県知事政策局長兼危機管理艦 新田一郎氏によるお話しです。富山が日本でどの位置にいるのか、現状置かれている立場と今後の取り組みでどう変わっていくのかをお話いただきました。金沢で美味しいと言われているお魚は、実は富山で採れる魚だとか。今日から二日間の懇親会への期待がふくれあがった瞬間でした。次は、今回初の試み

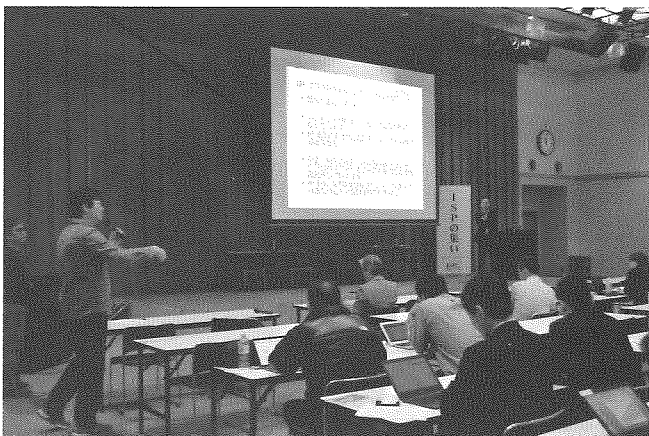






(ソネット宮内企画)でJAIPAへの新規入会のご紹介枠を設けました。2016年4月からの入会された3社(トナミ運輸株式会社(コーラルネット)、株式会社ネクストジェン、株式会社シーエスファーム)に自社紹介をお願いしました。各5分と少なくして申し訳なかったのですが、この機会にご紹介が出来て、既存会員の皆様とも交流がしやすくなったのでは無いかと思います。次は、クラウド部会、地域ISP部会の両部会で大変お世話になっているJPCERT/CCから「ネットワーク事業者で対策できる標的型攻撃への対応」とJPCERT/CCとJAIPAの取り組みをお話いただきました。クラウド部会は偶数月に地域ISP部会は随時と言った間隔で、部会に来ていただき直近にあったトピックをお話いただき、事業者からは現状のセキュリティについての対応状況をお話ししたりして、意見交換をしております。皆様もご興味ありましたら、ぜひご参加ください。随時メーリングリスト等で日程のご案内をしております。

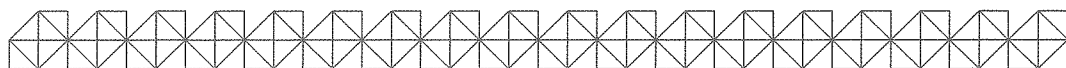
後半は、毎回来ていただいている総務省電気通信紛争処理委員会のお話しとクラウド部会が企画したプログラムです。NTTスマートコネクト 白波瀬社長、IDCフロンティア 石田社長による最近の自社の動向をお話いただいた後に、モデレータをさくらインターネット 田中社長、パネラーにそのお二人と、GMOクラウド 青山社長が加わり「国産クラウド事業者のトップが語る「クラウドビジネスの次のビジョンと地域の可能性」として、パネルディスカッションをしました。IDCフロンティアさんも今年度当協会に新規ご入会いただいたのです。この社長4名、蒼々たるメンバーの発言は、皆さん興味津々、そして質問等も多く有意義な時間となったと思います。一日目はこれで終了です。このパネルディスカッションの続きを懇親会にてした方も多かったようです。



二日目は、女性部会、モバイル部会の部会活動報告です。集いで定期的にJAIPA部会活動報告を行いたいと思っていたのですが、振り返ってみれば2014年第40回の奄美大島以来でした。そして実は、今回のプログラム全体を見ていただくと、1日目の後半にクラウド部会企画、2日目10:10~15:25のパネルディスカッションまでは、ネットワークの中立性WGの企画、それ以降、「電気通信事業法改正による事業者の対応状況とそれぞれの事例解説」はインターネットユーザー部会、「インターネット上の違法有害情報対策 違法有害情報・プロ責法に対応する事業者のパネルディスカッション」は、行政法律部会とそれぞれの部会が現状の部会報告とプログラムを担当する集いとなっています。女性部会とモバイル部会は、部会報告のみとさせていただきます。この企画も引き続き行う予定ですので、部会メンバーの方々にはぜひ、集いで企画をお願いいたします。そして、当日参加していただいている方には、この機会に部会参加をよろしくお願いいたします。

今回富山ということで、やはりメンバーの方々と繋がりのある株式会社インテックの荒野さんにご登壇いただかなくては、ということで、今この話題は聞かない日は無いですね。「AIとIoT」です。荒野さんが現在携わっている案件で、この日も現状とこれからをお話いただきました。その後、トラフィック問題やネット中立性についてのパネルディスカッションにもお時間ぎりぎりまで参加いただきました。二日目はISPが日頃困っていることを重点において企画しました。PC作業していてネットワーク環境が遅いこと、結構ありますよね?ブラウザでWebを見ようとしたらなかなか開かない。毎月更新のプログラムをダウンロードしていたり、ソフトのアップグレードだったり知らない間にダウンロードして、「あー、遅いな」と思ったら、すでに使えないくらいの重さ。これ「遅い!早くしろ!」とかがISPに苦情が来るんですよ。そんな現状をISPへのアンケート結果と各社の対応状況を上げ、意見交換をしました。「では、今後どうしたら良いのか!解決策ってあるのか!」はネットワークの中立性WGで今後も話し合われていきます。月1回会議を行っておりますので、ぜひご興味がありましたら、ご参加ください。また1月下旬にアンケートを行いますので、こちらもご協力の程よろしくお願いいたします。

ここ何回か遡って集いのプログラムを見てみると、「電気通信事業法改正」のセミナーが必ずあります。電気通信事業



法改正は電気通信事業者には大事な法律です。かならず運営するには気をつけなくてはならないものです。消費者保護の観点から改正になり、それにより事業者への付加がかなり多くなってきています。2016年5月に施行された後の事業者の対応状況と事例をJAIPA会員向けに行ったアンケート結果



を元に総務省とのやりとり、自社の対応状況などを織り交ぜパネルディスカッションをしました。現場の意見としてとても貴重なものになったセッションでした。 [https://www.jaipapa.or.jp/limited/report/2016/iu161118\\_jigyokaisei.pdf](https://www.jaipapa.or.jp/limited/report/2016/iu161118_jigyokaisei.pdf) インターネットユーザー部会の運営メンバーの皆様（石前義行氏、高木大一郎氏、上野敬之氏、岡田邦彦氏、小倉公生氏、岡本憲樹氏）お疲れ様でした。最後は、これも頭の痛い違法有害情報関係の問題です。モデレータは、JAIPA会長補佐（行政法律部会部会長）木村さん、ソフトバンクの村主さん、NTTcomの近藤さんを迎えて、行政法律部会メンバーが日々の対応状況について意見交換しました。最後に重い問題になりましたが、今回の集いは日々現場で活躍対応しているメンバーが多く、細かいところに発見があった良い集いとなりました。参加いただいた皆様ありがとうございました。また、開催まで基調講演の手配、懇親会会場等のご紹介等でご協力いただいた、コーラルネットの木下様大変お世話になりました。ありがとうございました。この場を借りて御礼申し上げます。そして、プログラム委員の皆様、大変お疲れ様でした。ありがとう。(M)

〈おまけ〉

今回の集い11月17日（木）11月18日（金）は、JAIPAに日々ご尽力いただいているお二人（安力川氏、高橋（GOGO）氏）のお誕生日でした。

懇親会時に参加者みんなでお祝いをさせていただきました。こういった個々のお祝いでもパーとみんなで盛り上がりを見せてくれるメンバー、参加者に感謝申し上げます。そして、お二人ともおめでとう～



## 「キュレーション？」

かんかんのう きうれんす～ きゅうはきゅうれんす さん  
しよならえ～ さあいほう……

キュレーションって言葉を耳にして、落語「らくだ」に出てくる「かんかんのう」が頭に浮かんだのですが

それはさておき

「DeNAのキュレーション・サイトが無断引用や事実誤認のまま医療情報などを公開していたことに対する批判を浴びた。この問題は、『インターネットとは何か』『インターネットにおける情報とは何か』という根本的な問題を考える契機になるだろう。」

橋川幸夫 <https://note.mu/metakit/n/nf3deef5b7812>

(以下「」は橋川幸夫のnoteより引用)

1990年代後半、ライターとして飯を食べていたこともあった身としては、このキュレーション問題は気になるどころです。

いつの頃からでしょうか？テレビのワイドショーで週刊誌や新聞の記事を紹介して番組を作るようになってきましたよね。そしてその延長線に、ネット上での発言やら表現をそのまま使って番組を制作することが普通になってきました。

ニュースソースですか？テレビがニュースソースを他のメディアに依存することに、違和感が無いようになってきました。

まあ雑誌にしても新聞にしても同じようにネットからネタを探して記事にすることがあたりまえの時代なのですね。

そしてネット上でも、ネット上の発言や表現をそのまま使う（バクる ですか）ことが当たり前になってきてしまいました。

そんな時代に、キュレーションって単語が跋扈し始めて、それが新しいビジネスになるって……そうやってきたのですね。そう理解しています。

仕事として文章を書くってのは、まあそれで生活している人達にとっては「仕事」です。仕事ですから好き嫌いは、かなりの部分我慢しないとイケない。時には自分の考えをねじ曲げてでも原稿を締切までに書き上げる。極端な言い方もしれないですが、それはそれでOKです。

記者、ライターと呼ばれている人達の大半は、ある程度そういうものではないかと。

一方、自己表現の手法として文章（イラストとか写真とかでもそうですが）を綴る人達も存在します。自分の好きなことを表現したいという人達。

「DeNAのキュレーション・サイトはライターたちが、あちこちの情報をコピペして、リライトしたものである。ここには、個人の表現欲求も、思いを伝えたい情熱もない。言葉の死体である。」

思いを伝えたいから文章を書くのではなく、ギャラを貰うために文章をかき集めて成形する。「言葉の死体」の山を築く。

そんな無意味な山を作るのが、キュレーションサイトということになります。

「AIの情報処理は、おそらく、AI版のwikipediaから始まると思う。情報処理が出来る情報は、コンピュータ自身が行えるようになる。人間が発すべき情報は何か。それは人間としての「体験」と「実感」だけである。僕はwikiを含めて、未来の情報は、AIによる匿名情報と、コンテンツIDのついた個人の署名原稿になると思う。」

体験もしていない、実感もない情報を「書いて」あるいは「書かせて」集積していくのがキュレーションサイトってことですね。

キュレーションって言葉を知り、見聞きする度に年老いた元ライターは、嘆くのですね。

つまらんことを商売にするようになってしまったなあ、いやそれが商売になるなんて世も末だと……。

しかし愚痴をこぼしていても仕方ないので、ではどうする？ どうなる？

「医療情報は、量ではなく質である。質というのは個別性である。膨大な医療情報データベースよりも、自分の病気と同じ病気をした人の体験記の方が、はるかに有益な情報があふれている。医療情報をやるならば『病気体験投稿サイト』をやるべきだったのである。投稿雑誌の凄ところは、本物の投稿が溢れていると、嘘の情報や、作り物の情報が、すぐにバレてしまうことである。そこには「実感」がないからだ。」

「体験」と「実感」やはりこれでしょうね。

「体験」と「実感」をきちんと集積していくことが、キュレーションの目指さないとイケない方向性。とてもシンプルだと思うのです。

「参加型メディアの参加には、2つの方法がある。徴兵と志願である。軍隊を作る時、強いものが権力を行使して兵隊を集める徴兵制があり、もうひとつは、一人ひとりの個人が自分の思いで自発的な戦闘に参加する志願兵である。軍隊の比喩は適切ではないかも知れないが、『表現の戦争』がある

としたら、徴兵制で集めた部隊よりも、一人ひとりが自発的なゲリラとなって戦う方が、表現の多様性を展開出来る。」

プロが書く文章、クオリティのあるものは当然それなりの対価を支払って「記事」として発表します。

それを集積するならそれなりのコストを覚悟して集めなければなりません。集めた情報の品質をビジネスにする訳ですね。今までのメディアの方法論の延長線。

もう一つが「参加型メディア」という方法論。

「問題は常に、表現に向かうモチベーションである。誰かに何かを伝えたいエモーショナルな気持ちである。どんなにプロフェッショナルな技術者よりも、自分の言いたいことを持っている人間の方が上位だ。」

どうしても伝えたことを内包している人が、それを知りたい人に伝える「場」それが「参加型メディア」には必須です。その場を創造するのがキュレーションメディアのお仕事。

ではどんな「場」が必要なのか？

それは下記のアスキーの記事を参照して下さい。

「インターネットが普及するはるか前に、インターネットのようなものを作った男がいた。彼の名を橘川幸夫（きつかわゆきお）という。

大学在学時の1972年に渋谷陽一、松村雄策、岩谷宏らと「ロッキング・オン」を創刊。その後、完全投稿制による雑誌「ポンプ」を1978年に創刊というのが彼の主なプロフィール。彼が辞めて以降のロッキング・オンは当たり前の商業音楽誌になったが、ポンプは最初から現在のソーシャルメディアのプロトタイプのようなものとして設計されていた。早過ぎたインターネットだったのだ。」

週刊キツカワ0号「場が主役の時代」

<http://ascii.jp/elem/000/001/270/1270697/>

最後に

2016年9月29日 横浜スタジアム バイスターズ対スワローズ戦

チケットをとれなかったファンは球場の外で涙を流していた。球場内は歓声と悲しみで溢れていた。三浦大輔最後の登板。あの日 ハマスタには「経験」と「実感」溢れていました。

[https://www.baystars.co.jp/news/2016/12/1212\\_02.php](https://www.baystars.co.jp/news/2016/12/1212_02.php)

## トナミ運輸株式会社

このたび、新規会員となりましたトナミ運輸株式会社です。

当社は、トナミホールディングスグループの中核事業会社であり、生業とする物流事業をサポートする情報システム事業部門において、1996年より開始したインターネットプロバイダ事業「CORALNET(コーラルネット)」を運営しております。

直近では、光コラボレーションモデルによる新サービス「コーラルネット光」の提供を開始しており、ホスティングサービス・災害の少ない立地条件を活かしたデータセンターサービスなど、お客様サービスの向上につとめております。

お客様の大切なデータが、安全・安心に最適に利活用されることは、本業である輸配送・保管・荷役業務の精神と相通じるところがあります。

さて、当協会の「ISP&クラウド事業者の集い」には、昨年11月「富山」で開催されたことから、弊社も微力ながら参画させて頂きました。

講演された方々の知見や活動を拝聴し、多くの方と交流できましたことは、今後の弊社事業運営にも大いなる関心事でもあり、大変貴重な機会でもありました。

今後も、会員の皆様との親交を深めながら、業界の振興とJAIPAの発展のため、微力ながら貢献できましたら幸いです。何卒、ご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

### ■お問合せ先

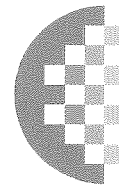
トナミ運輸株式会社ネットワーク推進部CORALNET

<http://www.coralnet.or.jp/coral-hikari/>

〒939-0402 富山県射水市流通センター水戸田2-1-1

電話 0766-57-4100

E-mail [info@coralnet.or.jp](mailto:info@coralnet.or.jp)



CORALNET

## 株式会社シーエスファーム

2016年9月より会員となりました株式会社シーエスファーム 代表取締役 松本昇と申します。

弊社は2012年5月の設立からそろそろ6年目を迎えようとしております。

モバイル業界に於けるネットワーク、無線システムのコンサルティングを主業務として、アプライアンス製品やソリューションの提案を行い、国内外ベンダ様とソリューションを探されているオペレータ様をつなぐことで、モバイル業界に貢献したいと考えております。

シーエスファームは、アンライセンスバンドである920MHz帯にいち早く注目し、ビル内に設置した環境センサーデータを920MHz帯無線により収集して解析するソリューションを開発し、大学との共同実験を実施。無線LANではカバーできないエリアをカバーすることにより、データ収集に必要な伝送コストを大幅に下げることになりました。

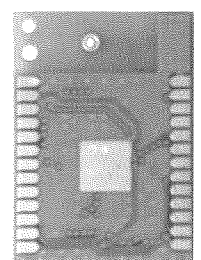
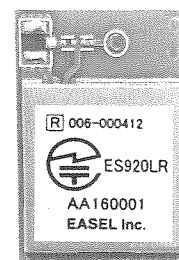
920MHz帯はその後、LoRaWANやSIGFOXなど各社から、特徴のある無線システムが開発され、2017年は実証実験フェーズから実用化フェーズと一気に進むと考えられます。これらの狭帯域無線システムでは伝送レートは低ですが、条件がそろえば数十キロメートルの伝送距離が実現可能になります。また消費電力も少なく、電池駆動で数年稼働する事が可能になります。

シーエスファームではLoRaWAN対応無線モジュールをご紹介するとともに、センサーデバイスを組み合わせた完成品の受託開発、コンサルティング業務をおこなっております。

JAIPAの会員様で、LoRaWANやIoTに関わる無線システムやデバイスにご興味がある方がいらっしゃいましたら是非弊社にご相談いただければと存じます。

弊社は、JAIPAの活動を通して、ISP様やMVNO事業者様が新しいサービスを提供される助力ができればと願っております。

\*写真は当社で取り扱っているLoRa対応モジュール(外形寸法:24.0×17.0×2.3mm)です。



# 株式会社ネクストジェン

はじめまして。株式会社ネクストジェンと申します。昨年、モバイル部会にてフルMVNO関連の講師を務めさせていただいたことを機に、加盟いたしました。

弊社の社名は、Next Generation Networkに由来しており、2001年に誕生しました。SIP/VoIPのパイオニアとして、創設期には、世界初となるフルIPキャリアの設立や、IPセントレックスサービス（現在のクラウドPBX：当時は「東京ガスショック」として大きく取り上げられました。）などのプロジェクトに携わり、通信インフラが大きく変わる瞬間に立ち会ってまいりました。

昨年の11月に設立15周年を迎え、当初13名程だった社員も100名超となりました。激動の時代に蓄積した技術とノウハウを基に新たな通信ソリューション・サービスを展開し、通信キャリア向けが中心であったビジネスも、現在では、MVNOやISP、エンタープライズまでを網羅できる体制が整いました。

会社としての節目のタイミングで、当協会に加盟したことも何かのご縁だと感じております。今後、会員の皆様と積極的に交流させていただき、益々変貌を遂げていく通信業界において、事業者と利用者の相互の利益をもたらす活動に寄与できるよう努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願いいたします。

株式会社ネクストジェン  
 東京都港区白金1-27-6 白金高輪ステーションビル6階  
 URL : <https://www.nextgen.co.jp/>

設立：2001年11月16日  
 資本金：521,251千円  
 従業員数：113名（2016年12月31日現在）  
 上場：東京証券取引所 JASDAQ(3842)

<Product Portfolio>

**通信キャリア向け**

- SBC**
  - NX-85000
  - Sonus
  - Oracle
- ソフトスイッチ**
  - NX-C1000
  - NX-M1000
  - NXシリーズ (IMS/HSSなど)
- 3PCCプラットフォーム**
  - NX-2100
- 運用管理・監視システム**
  - NX-C6000
  - NX-C7000
  - NX-C8000
- セキュリティ診断コンサルティング**
  - SIP/VoIPセキュリティ診断サービス
  - LTE/4G認証性診断サービス
- VoIP/IDS&フォレンジックシステム**
  - NX-C9000
- VoIP試験ツール**
  - NX-V05
  - NX-V35
  - NX-V3R
- ネットワーク可視化**
  - Isis
- その他**
  - ENUM
  - IP-STP
- コンサルティング**
- エンジニアリング**

**MVNO/SP向け**

- フルMVNO化ソリューション**
  - HSS (HSS/HLR)
  - その他HSS関連システム (ORA/DEA/4WF/IP-STP/EIR)
- 3PCCプラットフォーム**
  - NX-C2100
- クラウドサービス**
  - U1 Voice クラウドPBX
  - U1 Voice オフィスタイプ
  - U1 REC
- コンサルティング**
- エンジニアリング**

**エンタープライズ向け**

- SBC**
  - NX-85000 for Enterprise
  - NX-E1010
- IP-PBX/セントレックス**
  - NX-C1000 For Enterprise
  - NX-E1000
- クラウドサービス**
  - U1 Voice クラウドPBX
  - U1 Voice オフィスタイプ
  - U1 REC
  - Web電話機
- コンタクトセンターソリューション**
  - UCI UCSP
  - メディアサーバー
  - 音声録音
  - オメガメールシステム
- PIT (Push to Talk) ソリューション**
  - 無線機連携遠隔エリア監視システム
- 遠隔録音ソリューション**
  - 【録音システム】
  - VP-101N
  - VP-500
  - LA-5000
  - LA-6000
  - LA-7000
  - NX-E1010
  - 【録音データ管理システム】
  - VoIPplus
- Network TAP**
  - Isis

**NextGen**  
 connect to the next generation

# 行事一覧

## 10月

- 4日(火) 第154回行政法律部会
- 4日(火) 沖縄ICTフォーラムプログラム委員会
- 5日(水) 第57回クラウド部会
- 6日(木) 第3回ネットワークの中立性ワーキンググループ
- 12日(水) 第86回女性部会
- 18日(火) 第152回地域ISP部会
- 21日(金) 第18回モバイル部会
- 25日(火) 2016年度第2回理事会
- 26日(水) 第110回インターネットユーザー部会

## 11月

- 2日(水) 第58回クラウド部会
- 8日(火) 第155回行政法律部会
- 10日(木) 第111回インターネットユーザー部会
- 10日(木) 第87回女性部会
- 17日(木)~18日(金)  
第46回ISP&クラウド事業者の集いin富山
- 24日(木) 第4回ネットワークの中立性ワーキンググループ
- 25日(金) 第1回クラウドカンファレンス2017実行委員会

## 12月

- 1日(木) 第19回モバイル部会
- 6日(火) 第156回行政法律部会
- 7日(水) 第59回クラウド部会
- 8日(木) 第88回女性部会(エグゼクティブトーク)
- 12日(月) 第111回インターネットユーザー部会
- 13日(火) 第2回クラウドカンファレンス2017実行委員会
- 15日(木) 第5回ネットワークの中立性ワーキンググループ
- 19日(月) 第153回地域ISP部会
- 20日(火) 第114回運営委員会

## 1月

- 11日(水) 第60回クラウド部会
- 11日(水) 第89回女性部会(勉強会)
- 17日(火) 第157回行政法律部会
- 17日(火) 第3回クラウドカンファレンス実行委員会
- 18日(水) 第154回地域ISP部会
- 19日(木) 第115回運営委員会
- 19日(木) 2017年賀詞交歓会  
(at.都市センターホテル)
- 20日(金) 第6回ネットワークの中立性ワーキンググループ
- 25日(水) 第112回インターネットユーザー部会
- 30日(月) 次世代Wi-Fi(Next generation Hotspot)セミナー  
(at.ハロー貸会議室)



(第46回ISP&クラウド事業者の集いin富山)

## 役員一覧

### 会長

渡辺 武経 株式会社ディー・エヌ・エー

### 副会長

菊池 正郎 ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社  
 大井 貴 NTTコミュニケーションズ株式会社  
 西山 裕之 GMOインターネット株式会社  
 立石 聡明 有限会社マンダラネット

### 専務理事

立石 聡明 有限会社マンダラネット

### 常任理事

秋山 卓司 クロストラスト株式会社  
 上野 貴也 ニフティ株式会社  
 鎌倉 忍 ディーシーエヌ株式会社  
 古関 義幸 ビッグロブ株式会社  
 晋山 孝善 ジェットインターネット株式会社  
 関野 浩也 群馬インターネット株式会社  
 高橋 佑至 株式会社ネットフォレスト  
 竹綱 洋記 ソフトバンク株式会社  
 永田 勝美 株式会社NTTぷらら  
 中桐 功一朗 KDDI株式会社

### 理事

家本 賢太郎 株式会社クララオンライン  
 石田 卓也 株式会社イプリオ  
 高橋 美博 株式会社グッドコミュニケーションズ  
 田中 邦裕 さくらインターネット株式会社  
 中野 雄一 株式会社エヌディエス  
 野口 尚志 EditNet株式会社  
 横田 洋人 株式会社アットアイ  
 横山 正 株式会社インターリンク

### 監事

新堀 龍明 株式会社サンライズシステムズ  
 竹内 常夫 虹ネット株式会社

(2016年9月30日現在)

## 会員一覧

### ■正会員 [156団体]

株式会社アイエフネット	株式会社イプリオ	エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社
株式会社IMS	射水ケーブルネットワーク株式会社	株式会社エンボリック
株式会社アイキューブ・マーケティング	株式会社インターネット尾張	オーシャンブロードバンド株式会社
株式会社IC-NET	インターネット・フューチャー株式会社	株式会社大塚商会
株式会社IDCフロンティア	インターネットプロ東海株式会社	大槻電気通信株式会社
株式会社アイマネジメント	株式会社インターリンク	株式会社オキット
AXLBIT株式会社	WIXI株式会社	カゴヤ・ジャパン株式会社
アクロニス・ジャパン株式会社	エクイニクス・ジャパン株式会社	関越ネットワークシステム株式会社
株式会社朝日ネット	株式会社STNet	特定非営利活動法人きたらうら花ねっと
株式会社アットアイ	株式会社エディオン	京セラコミュニケーションシステム株式会社
有限会社あまくさ藍ネット	EditNet株式会社	株式会社クオリティア
アミック株式会社	株式会社エヌディエス	株式会社グッドコミュニケーションズ
株式会社有明ねっとこむ	NTTコミュニケーションズ株式会社	株式会社クララオンライン
アルテリア・ネットワークス株式会社	エヌ・ティ・ティ・コムウェア株式会社	株式会社グローバルネットコア
株式会社イーネット	エヌ・ティ・ティ・スマートコネクスト株式会社	クロストラスト株式会社
イーブロードコミュニケーションズ株式会社	株式会社NTTドコモ	株式会社クロノス
イエスネット株式会社	株式会社NTTPCコミュニケーションズ	群馬インターネット株式会社
イツ・コミュニケーションズ株式会社	株式会社NTTぷらら	株式会社KDDIウェブコミュニケーションズ



# 会員一覧

株式会社ケー・アイ・ピー	株式会社新潟通信サービス	メディアウェイブシステムズ株式会社
株式会社ケーシーエス	株式会社西新宿ドットネット	株式会社メディアブリッジ 東京支店
KDDI株式会社	虹ネット株式会社	ユニアデックス株式会社
株式会社コアラ	ニフティ株式会社	ライド株式会社
株式会社高知システムズ	日本・アルカディア・ネットワーク株式会社	楽天コミュニケーションズ株式会社
株式会社恒徳産業	日本情報システム株式会社	リコージャパン株式会社
コスモメディア株式会社	日本ネットワークイネイブラー株式会社	株式会社両毛インターネットデータセンター
彩ネット株式会社	日本マイクロソフト株式会社	株式会社レキサス
サイバーエリアリサーチ株式会社	株式会社日本レジストリサービス	Rebyc株式会社
さくらインターネット株式会社	株式会社ニューメディア徳島	ワークアップ株式会社
株式会社さくらケーシーエス	ネクストウェブ株式会社	
サンコー事務機株式会社	株式会社ネクストジェン	
株式会社サンメディア	株式会社ねこじゃらし	
株式会社サンライズシステムズ	株式会社ネスク	
株式会社シーエスファーム	株式会社ネットアイアールディー	
GMOインターネット株式会社	株式会社ネットフォレスト	
GMOクラウド株式会社	株式会社ハイネット	
ジェットインターネット株式会社	株式会社Hi-Bit	
株式会社シグマライン	パラレルス株式会社	
株式会社スタジオマップ	株式会社ハローコミュニケーションズ	
株式会社ゼクシス	BBIX株式会社	
株式会社創風システム	株式会社光システム設計	
ソニーネットワークコミュニケーションズ株式会社	BizMobile株式会社	
ソピアフォンス株式会社	株式会社日立システムズ	
ソフトバンク株式会社	ビッグロブ株式会社	
ZOROK株式会社	株式会社ヒューメイア	
株式会社タグバンガーズ	株式会社ファミリーネット・ジャパン	
有限会社たけかわ企画	株式会社フィックスポイント	
ダンボネット・システムズ株式会社	株式会社フォーサイトウェブ	
株式会社つなぐネットコミュニケーションズ	株式会社富士通システムズアプリケーション&サポート	
株式会社ディー・エヌ・エー	株式会社フューチャースピリッツ	
ディーシーエヌ株式会社	株式会社フューチャーネットワークス	
株式会社TCP	フリービット株式会社	
株式会社DMM.comラボ	ブックスシステムデザイン株式会社	
有限会社T-CNET	有限会社プロベル	
株式会社電算	天系瓜ネット合同会社	
103R株式会社	株式会社北斗システムジャパン	
電通工業株式会社	HOYAサービス株式会社	
株式会社TOKAIコミュニケーションズ	株式会社ホワイトサポート	
トナミ運輸株式会社	株式会社マイメディア	
株式会社トリトン	松本商工会議所	
有限会社ナインレイヤーズ	有限会社マンダラネット	
那賀町ケーブルテレビ	三井物産セキュアディレクション株式会社	
株式会社長野県協同電算	ミテネインターネット株式会社	
那須インフォネット株式会社	株式会社ミライコミュニケーションネットワーク	
株式会社NAX	株式会社武蔵野	

## ■賛助会員 [5団体]

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター  
サイバーソリューションズ株式会社  
特定非営利活動法人日本テレマーケティング保護協会  
日本ネットワークセキュリティ協会  
一般社団法人モバイル・コンテンツ・フォーラム

(団体名五十音順) 2017年2月20日現在

# インターネット接続サービス安全・安心マーク

インターネット接続サービス事業者（以下「事業者」という。）の業界団体である一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会、一般社団法人テレコムサービス協会、一般社団法人電気通信事業者協会、及び一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟は、ブロードバンド環境下で安心してインターネットを利用して頂くため、インターネット接続サービス安全・安心マーク制度（以下「安全・安心マーク」という。）を設けています。

この「安全・安心マーク」は、一般利用者がインターネット接続サービスを提供する事業者を新たに選択する際、ユーザ対策やセキュリティ対策などが、一定基準以上であるという目安を提供するものです。



<http://www.isp-ss.jp/>

## 【審査内容】

1. セキュリティポリシーの確立及び監査制度の導入
2. システムのセキュリティレベル
3. トラブル発生時の対応体制の確立
4. 利用者向け契約約款等の整備と公表
5. ユーザ対応体制の整備
6. 利用者に対する周知・啓発等の取組み
7. 個人情報保護に関する取組み

## ■審査方法

1. 審査は一次審査と二次審査により行う。
2. 一次審査は、本審査基準に規定された審査項目に従って行う。
3. 審査項目は、広く公表されるものである。
4. 一次審査は、協議会が、一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会、一般社団法人テレコムサービス協会、及び一般社団法人電気通信事業者協会に委嘱して行う。
5. 二次審査は、安全・安心マーク審査委員会にて実施する。
6. 一次審査は随時受け付け実施するものとし、二次審査については年間3回（7月、11月、3月）の実施とする。

## ■手続き (<http://www.isp-ss.jp/system.html>)

- ・「審査申請書」をダウンロードして、「審査項目回答書」に必要事項を記入（自署・押印が必要な箇所があります）、各申請先（JAIPA、テレサ協、TCA）まで送付してください。
- ・「審査項目回答書」到着後に一次審査を行い、二次審査に進みます。
- ・二次審査合格後に協議会より使用許諾証をお送りいたします。

## ■審査申請書送付先一覧

〒150-0031

東京都渋谷区桜丘町 3-24 コーポ桜丘ビル 6F

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会

「安全・安心マーク推進協議会」

TEL:03-5456-2380

〒103-0013

東京都中央区日本橋人形町 3-10-2

フローラビル 8F

一般社団法人テレコムサービス協会

「安全・安心マーク推進協議会」

TEL : 03-5644-7500

〒105-0003

東京都港区西新橋 1-1-3

東京桜田ビル 4階

一般社団法人電気通信事業者協会

「安全・安心マーク推進協議会」

TEL:03-3502-0991

## ■料金

審査料金 80,000 円／更新審査料金 60,000 円／マーク年間使用料 20,000 円

※審査基準等、詳細は Web をご覧ください。

※不明点は遠慮無くお問い合わせください。（事務局 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会）

## インターネット接続サービス安全・安心マーク推進協議会

一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会・一般社団法人テレコムサービス協会・

一般社団法人電気通信事業者協会・一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟

バントも積もればチャンスになる  
ジャブも積もればダメージになる

皆様いつも大変お世話になっております。NTTスマートコネクの佐々木です。

主に地域ISP部会や集いに参加させていただいています。

この度、JAIPA Expressに寄稿する機会をいただきました。最終的に下手な就活のエントリーシートみたいになってしまいましたが、皆様少しの間だけお付き合いいただければと思います。

僕のことをご存知の方はまったくイメージがわからないと思いますが、今回僕がこれまでに携わった野球とボクシングというスポーツ、そしてそこから学んだことについてお話ししたいと思います。

### ■ 駆け抜けた高校野球

#### ① 理想と現実のギャップに悩んだ高校球児

高校時代、野球部で白球を追いかけていました。佐賀県の片田舎にある私立高校で、チームは夏の県予選で万年一回戦負け、部員は1年から3年まで含んで20名そこらという俗にいう弱小チームでした。ただ監督は非常に厳しく、高校・大学時代に名を馳せた名選手で顔も広かったため、練習試合や遠征では信じられないような強豪高校と戦うこともめずらしくありませんでした。そんなチームで僕は2年の秋からやっとレギュラー、しかもポジションは9番レフト。実力もないのにバリバリのホームランバッターで活躍するイメージばかりを抱いて野球を始めるも、実際は長打が打てず下位打線にいたので随分と理想と現実のギャップに苦しんだことを憶えています。

#### ② 長所をひたすらに伸ばす～バントと足が僕の生きる道～ そんな時、引退した先輩に声をかけられました。「9番は本当に重要な役割。上位打線からさあもう一度！とチームを勢いづかせるのがお前の仕事」。打撃面は全く期待されていないと思っていたので、その言葉でなんだか吹っ切れた気がしました。

子供なりにいろいろと考えるわけです。自分の「強み」は何だろう？これだけは負けないというものを見つけてひたすらに伸ばそう。それがバントと足でした。もともと足は50m 6秒を切るくらいだったので自信がありました。おまけに左打者だったので、だったらセーフティバントを練習して自分も塁に残れるようにしましょう。打撃練習はいつも1つのケージで大体10球程度なのですが、バットを振る気持ちを抑えてひたすらバントを練習しました。高校3年で出場した試合で僕はバントを失敗した記憶がありません。

#### ③ 野球で学んだ「組織」の中での「個」の役割

野球をする人なら、皆一度は大谷翔平選手のようなエースで4番を目指します。華があって何時でもヒーローになれるチャンスがあります。ただ野球は「組織」のスポーツです。打順やポジションの1つ1つに役割があり、守備職人や代打の神様、代走のスペシャリスト、「勝利」という最大にして最終の目標を達成するためには、1人のスーパーヒーローだけでは達成できません。そういった意味では2016年に日本一に輝いた日本ハムは、大谷選手ばかりがどうしてもクローズアップされますが、個人が自己犠牲をいとわず自身の役割を存分に発揮した素晴らしいチームだったのではないのでしょうか。かくして高校最後の夏の県予選、その年NHK杯で準優勝し、数年後甲子園出場を果たす名門チームと対戦。下馬評はもち

ろん圧倒的不利でしたが結果は8-7で惜敗。ジャイアントキリングを果たせないあたりがドラマとは異なりませんが、最後まで駆け抜けた3年間でした。

### ■ ボクシングへの挑戦

#### ① 憧れた2人の世界王者

高校野球で燃え尽きた僕は大学に入学後、部活やサークルには一切入らず、ひたすらアルバイトに勤しみどこか悶々とした毎日を送っていました。ある居酒屋のバイト先の友人の誘いをきっかけに大学2年の終わり頃からボクシングジムに通い始めます。もともとボクシングを観ることが好きで、忘れられないのが2000年に開催された王者畑山隆則と坂本博之の世界ライト級タイトルマッチ。国内歴代ベストバウトの呼び声が高いこの試合は、まさにボクシングの醍醐味が詰まった最高の試合で、テレビを観ながらものすごく興奮したのを今でも憶えています。僕が大学生の頃は長谷川穂積が全盛期で10度連続王座防衛。一度やってみたかったボクシング（アマチュア）に挑戦しどんどんハマっていきました。

#### ② 自己管理の難しさと折れない心

ボクシングは基本個人スポーツなのでチームでやるそれとは違い、とにかく自己管理が大変でした。練習も体重管理もすべて自分。手を抜こうと思えばどれだけでも抜けます。ボクシングを職業とする人達は本当に凄いつくづく思います。普通は12ラウンドもパンチを出せないし、10キロも体重を落とせません。たった数十分のリングのために途方もない時間を使って準備をすることは、スタッフの支えこそあれど孤独感でいっぱいだと思います。減量のため3日間寒天ゼリーと少量の水で過ごしたことがあります。足がフワフワ浮いた感じでまともに歩けません。試合はノーガードでとにかく打って打たれてだったので顔はいつもボコボコでしたが、心が折れそうな時に一歩前に入る気持ちが養われた気がします。

### ■ さいごに

現在は週末に友人の草野球チームに参加したり、年に1～2回ハーフマラソンに出たりと極力体を動かすようにしています。スポーツは自分を見つめなおすいい機会です。草野球でもピンチ中の守備やチャンスの打席では今でも緊張しますし、マラソンは「もう止まろう」という自分と幾度も格闘を続けます。それを乗り越えた時の達成感言葉にできません。今後はゴルフもやりたいなと思っているので皆様もしよろしければご指導ください。皆様のご健康を祈念しまして終わりにしたいと思います。最後までありがとうございました。

NTTスマートコネク株式会社 佐々木 謙太

高槻ハーフマラソンでの1枚



平成26年に参加した岐阜100キロウォーキングの完歩証

## お知らせ

### ■本社移転のご案内

2016/11/7より、弊社三田本社および大手町オフィスを統合し、新本社オフィスにて営業を開始しました。

本社所在地：

〒105-0004 東京都港区新橋六丁目9番8号 住友不動産新橋ビル  
詳細はコチラ (<https://www.arteria-net.com/company/access/>)

アルテリア・ネットワークス株式会社

姪っ子はHey! Say! JUMPのファンである。  
一昨年からJUMPくんのライブに参戦するようになったのだが、ところがここ最近、JUMPくんのチケットが取れない。毎年いってる友達は外れたことない、と言っていたのだが、とうとう今年の横浜アリーナ（横アリ）は外れてしまった。そんな外れた横アリのライブで、年末年始に東京ドームでコンサートをすると発表があったのだ。横アリが最近取れにくくなってきたなあ、ですからね～ 東京ドーム、座席数は横アリの5倍ですよ、多分…  
いやあ埋まる？ 埋まるの？ なんて考えが甘かった…  
またも外れたのである。  
まあ外れたので返金があるわけですが、コンサートの申込はFCに入っている姪っ子名義ではあるものの、出資は私なのである。返ってくるお金は私のだけでも、郵便局にいった換金してくれるのは本人ではなくてはならず…  
なかなか平日に姪っ子連れて郵便局に行くことが難しく、なんとか年末の平日に姪っ子連れて返金の手続きが出来るチャンスを作ったものの、ところが、とんだ落とし穴があったのだ。  
身分証明書が必要だから学生証を持っていったのに、なんと私立高校の学生証は身分証明書にならないそうなの。  
公的ではないからダメなのだとわれ、ええええー！ ウソでしょー！！  
あ、あ、待って、それじゃあ都立はいいの？  
「公的機関ですから」by郵便局員  
なんだとー！  
だって写真貼ってあるしー、都立はよくて私立がダメなんてー、初めて知ったー  
だって健康保険証は写真貼ってないんだよー、えー、ウソでしょー  
面倒だから自分がFCに入って入金作業すれば返金になった時に面倒じゃなくなるのだが、嵐は返金作業が大変だからなのかネットで申込み抽選があり、当選後に入金する方式である。JUMPもそろそろネット抽選になるか…と踏みとどまっている今日この頃である。(T)

### JAIPA Express Vol.44

2017年2月20日 初版第1刷発行

発行所 一般社団法人日本インターネットプロバイダー協会 (JAIPA)  
〒150-0031 東京都渋谷区桜丘町3-24 カコー桜丘ビル6F  
TEL:03-5456-2380 FAX:03-5456-2381  
URL:<http://www.jaipa.or.jp/> E-mail:[info@jaipa.or.jp](mailto:info@jaipa.or.jp)

印刷 フジサービス株式会社  
〒105-0014 東京都港区芝2-20-8



■本書の内容に関するご質問は、E-mailにてお問合せください。  
■本書掲載記事の無断掲載・放送は堅くお断りいたします。  
■乱丁・落丁本がございましたらお取り替えいたします。

©2017 Japan Internet Providers Association